

# 介護タクシーで

## お年寄り手助け

■成田■ 2006年6月に介護タクシー「成田ケアステーション」を開業した山下直人さん(47)。病院へ通うお年寄りや、病気で寝たきりの人を乗せてきた。成田空港から自宅までの移動に利用する人も多く、秋田県まで行ってほしいと依頼されたこともあった。この3年間で約4200件の利用があり、走行距離は21万キロを超えたという。かつて、不動産売買仲介会社の営業マンとして11年間、さまざまな顧客と接してきた。

「お客さまとは一生のお付き合い」と語る山下さん夫妻



た。その中で、随行了たお年寄りや、身体の不自由な人の不便さを、幾度となく感じてきたという。

6年ほど前、「介護タクシー」の存在を知り、「このよ

# ほのぼの@タウン

＊ タウンリポーターのコーナー

うなお客さまの足になりた「い」という思いが膨らみ始めた。看護師として働いていた妻と、少しずつ準備を進めてきたという。

利用者の家族から、「あり

## ピアノの調べ

### 親子うつつり

■船橋■ 習志野台公民館で7月、「こどもと楽しむミニコンサート」が開催された。音楽を通じて地域住民が心豊かにふれあい、健全な地域に育ってほしい——との思いから、「習志野台地区青少年の環境を良くする市民の会」が

がとう。お願いして良かった」と言われると、日々の疲れも飛んでいくという。

そんな山下さんの楽しみは3人の息子たちとの野球。少年野球チームでの審判も務め

## 企画・運営した。

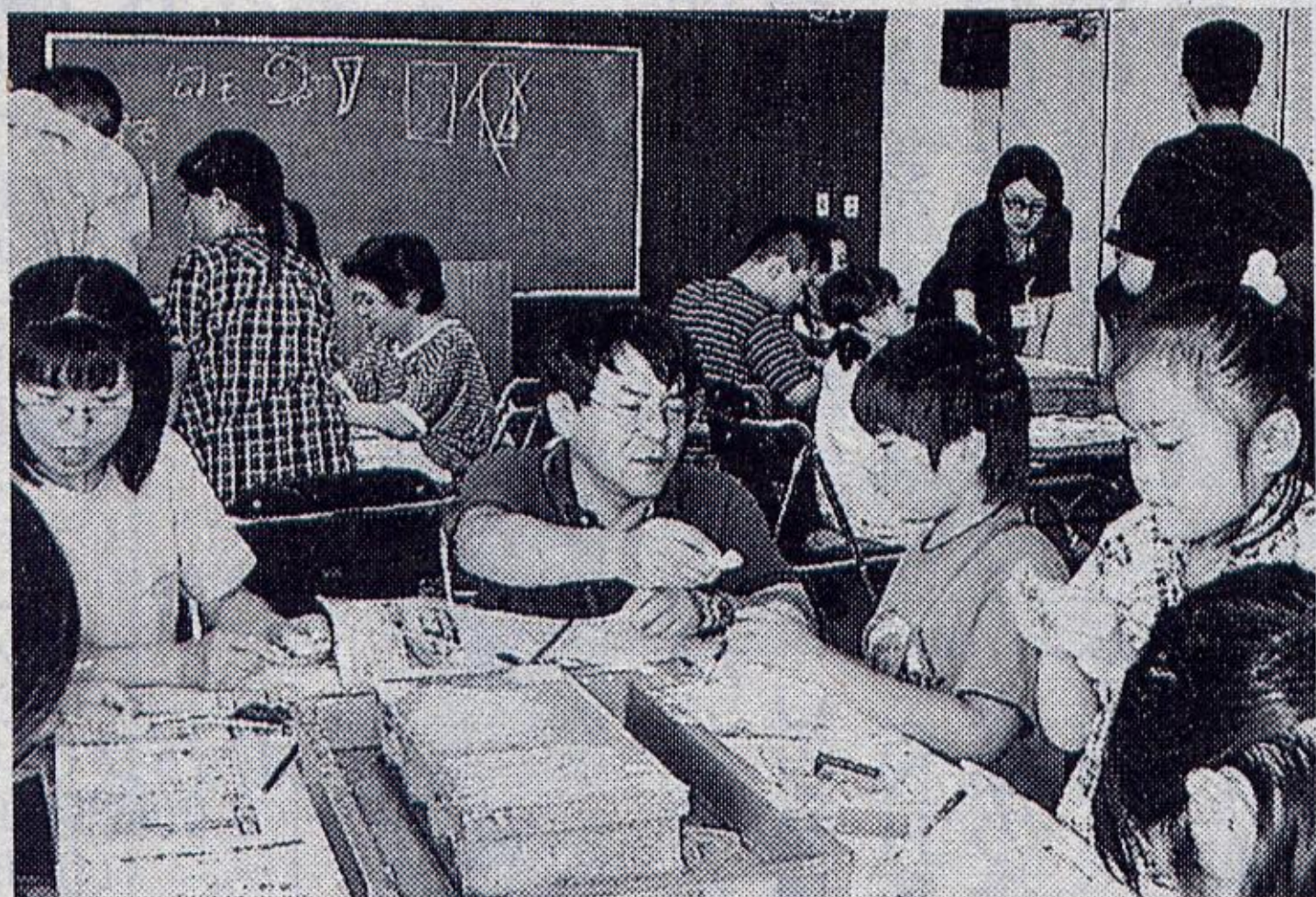
事務局長の鳥取恵子さん(52)は「子どもたちが、身近な場所で本物の音楽に触れられる、気軽に飾らないコンサートにしたい」と語り、演目には、ピアノの名曲のほか、おなじみの童謡、宮崎駿さんのアニメのテーマ曲なども盛り込んだ。

習志野台中学校ALTクラス英語科講師でピアニストの山本麻紀さん(43)が演奏を買って出た。「ヨーロッパで音楽に従事する人々は、自分が学んだ芸術を地域に還元するということを当たり前のように考えている。自分もこの地域で、活動できるチャンスがあるなら、とっていた」という。

当日は、近隣の親子約80人が参加。プロの演奏のすばらしさにうつつりしていた。聞

「利用されるお客さまとは一生のお付き合いをさせていただく気持ちで運転しています」と日焼けした顔に笑顔を浮かべていた。(佐藤裕子)

き覚えのある曲に合わせて大きな声で歌い出す子や、自分のひざを鍵盤代わりに、ピアノを弾くまねをする子もいた。習志野台第二小6年の喜多咲月さんは「ピアニストの素早い指の動きに驚いた。こんな身近な場所で素晴らしい演奏が聞けるなら、また参加したい」と話した。(清水美奈子)



## 気分は古代人!

■流山■ 市立博物館では、今年度の子ども教室として、計3回の「古代のアクセサリー教室」を企画。第1回が6月に開かれ、36人が参加した=写真=。

縄文時代から古墳時代に、ヒスイや滑石などで作られた「勾玉」を、加工が簡単なる石を使って作ってみようという試み。博物館職員や大学の実習生らが指導した。

勾玉は、古代人が首飾りとして身につけてお守りにしたり、それによって高い身分を表したりしたという。

子どもたちは、消しゴム大のろう石に絵を描いたり、やすりをかけたりと悪戦苦闘。個別に指導を受けながら、2時間かけてピカピカの勾玉に仕上げ、大喜びしていた。同館学芸員らが「歴史を学ぶことが好きになってくれるとうれしい」と呼びかけていた。

次回は11月15日、その次は3月13日に予定されている。(戸倉芳子)



美しいピアノ演奏で来場者を魅了したミニコンサート